

「長久手市緑の基本計画」策定 ワークショップニュース Vol.3

12月12日（木）に長久手市役所西庁舎において、合計24名の市民の皆さんの参加によって「緑の基本計画」の第3回ワークショップ（最終回）が行われました。

今回が最終回となったワークショップでは、前回のおさらいと市民の緑づくりをサポートする現行の助成制度の説明の後、これまでと同様に4つのグループに分かれて「市民の皆さんができる緑づくりを教えてください！」というテーマで話し合ってもらい、さらにその後押しとなる行政のサポートについても考えてもらいました。

【当日のスケジュール】

- 1.開会
- 2.前回のおさらい、助成制度の説明など
- 3.グループワーク
「市民の皆さんができる緑づくりを教えてください」
- 4.グループ発表、ワークショップ全体の感想
- 5.市の総括
- 6.閉会



様々な植樹・花づくり・野菜づくりだけでなく、管理に関する提案もあつまりました！



やってみたい緑づくり・緑の管理

【緑づくり】

身近な取り組みとして、植樹、花づくり、野菜づくりについて様々な意見が出されました。季節の花、実のなる木、常緑樹、真菜（長久手市の伝統野菜）の花畑、市民農園、緑のトンネル、緑のカーテン、木陰づくりなど多岐にわたり、自宅で行うものだけでなく、公園の一部などの公共用地や未利用地を借りるという想定も多くありました。また、子ども会、学校、自治会などと一緒にした取り組みや、行政との分担・協働を想定したものもありました。

【緑の管理】

公園の樹木や街路樹の管理についても、ボランティアで剪定に組み合いたいという意見だけでなく、樹木に名札を付ける、清掃活動日などを決めて市全体で取り組むという提案もありました。

現行制度の改善点について

記念樹配布事業については、対象の拡大や植樹場所の提供などの改善案が出されました。

こんなサポートが欲しい

【モノの協力】

民有地の緑化には、種子や苗の配布が有効という意見が多くありました。

【コトの協力】

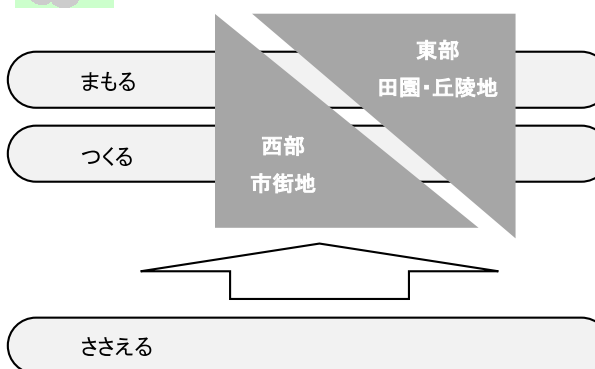
樹木や花について知識や情報を増やしたいということから、講習会や体験イベントの開催、専門家のアドバイス、散策路マップや記念樹マップの作成などがあげられました。

また、公園や公共施設の一部で市民が緑づくりのイベントを出来るようにするための各課の連携や、剪定ボランティアが可能となる条件の整備、花づくりや野菜づくりを希望する市民が民地の未利用地を使えるようにするためのマッチングなど、行政に期待する意見も出されました。

市民の緑づくりのやる気を高めるフォトコンテストなどの実施や、市民や企業から緑づくりに必要な経費の寄付をしてもらうという資金集めの提案もありました。



3回のワークショップを通したまとめです！



3回のワークショップを通して、お気に入りの緑を「まもりたい」、不足している緑を「つくりたい」、これらは行政まかせではなく市民や企業と一緒に「ささえる」ことが重要だということが確認できました。そして、市民や企業が主体となって取り組む緑のまちづくりに、大きな可能性があることがわかりました。

このワークショップの成果を「緑の基本計画」に活かして行きたいと思います。

ひとことアンケート

お疲れ様でした。色々な方と面識ができた事にまず感謝です。/緑には色々あると言われるが、花・芝生・つた類も緑と読んで良いのか。少しとまどった。/意見が多すぎ。どうしたら良くなるか。/今回参加して、「維持管理」という面について、様々な意見を聞き、考えを深めることができたので良かった。/色々なご意見をお聞きし、知らない事もあったので、勉強になった。これからは市民がどう動くかが課題。/一般市民に混じって各課の職員が参加されている事が非常に良い。/3回お疲れ様でした。今日のテーマが難しかったこともあり、他のグループの発表を聞く雰囲気あまり集中しなかった感じがあったと思う。/参加された方達の意識が高いのにビックリ。緑に囲まれた環境に育ったせいか、意識がそちらに向いていなかったが、これからは、少しは高めていこうかな。/色々な方の意見、思いを聞くことができた。が、同じような人達と同じようなWS、何か改善する良い方法はないものか、難しい。/これまでの市の公園、緑地の整備や条例の方向性は正しいと思う。/緑を維持管理及びそこに特異性を持たせる事は大変だと思う。ただ、ジブリパークの設置により、国際的知名度が高くなるとおもわれますので、市の方々の一層のご尽力、ご支援を頂きたい。/市民の緑に対する意識を高める事が適切な維持管理や量を増やす事に有効かと思う。/緑を増やすことも大切だけど、それ以上にどう管理していくかが重要。そのためには、市民にいかに関心を持ってもらうかが課題。/まず市としての考え方を明示すべきではないか。/上位の計画立案をしっかりと立てる事が大切。枝葉末節の議論では心もとない。/今、世界で一番大切な事として言われているのは環境問題であり、ブラジル等の森林の野焼きが問題になっている。解決策は高木が一番と思うし、二酸化炭素を吸収する葉が一年中ある常緑樹をお願いしたい。/緑の育成には「水」が不可欠→「緑地」への水の供給をどうするかをしっかりと検討する必要がある。/毎年計画の検証委員会を。/今年度最後のWSだったが、何か物足りない気がする。この結果を市はどうされるのかを知りたい。それが、私たちが参加した市民へのインセンティブだと思う。自分たちの努力の報われ方が知りたい。/行政としてベースの考えを市民に広報活動すべきである。/公報を使ってPRを広める。又、校区别にPRを広める。→ボランティア募集等市で仕組み作りをして、PRを進める。/市民参加の「長久手緑の日」を作って、皆が親しむ、親子で親しむ「緑の日」を推進して欲しい。/市民参加のイベントを多く開催し、緑に関心を持ってもらえるようお願いしたい。/市民参加の緑に関するイベントや勉強会が開かれると良い。/参加者の力を活用しないもったいない。/緑の勉強会などの名前を付けて、今後もこの様な話し合いを続けていく事で、意識を高めていってほしいと思う。

